

新型コロナウイルス感染が日本でも拡大し始めて、とうとう一年が経ってしまいましたね。3密の回避、手洗い、手指消毒にマスクの着用、換気に適度な湿度管理……。みんな頑張っているのに、なかなか感染拡大が止まらないのは辛いですね。

先日、公民館の玄関の屋根に、再び大きな看板を掲げました。『一人じゃないよ♡あなたにエール』です。今回は、都跡公民館の自主グループ連絡協議会の役員さんが中心となって、言葉を考え、画用紙を切り、板に貼り、設置してくださいました。

昨年、はじめて緊急事態宣言が出され、公民館が臨時休館となった時も、『元気をだそう』の看板を出していましたが、ご存知でしたか？その時は、職員だけで作ったのですが、今回は違います。文字通り『一人じゃないよ』です。看板製作の時の役員のみなさんは、明るく、楽しく、おしゃべりも弾みました。マスクをしていても満面の笑み、まるで学生時代に帰って、文化祭の準備をしているような賑わいでした。

今、感染者数が高止まり傾向にあり、自主グループのみなさんの中には、活動を控えるグループも出てきました。でも、たとえ公民館に足を運ばなくても、離れていても、みんな見えない糸で繋がっています。それが、私たちの住む世界なのです。コロナ終息後の新しい世界が、たくさんの繋がりがもたらす智慧の結晶で、今よりもっと良い世界になることを信じて、みんなで乗り越えていきたいと思います。この看板には、『あなたは決して一人じゃない。励まし、支えてくれる人がいる。あなたもまた、誰かを支えているかけがえのない存在である。』そんな思いが込められています。お近くにいられた時は、是非上を向いて看板をご覧くださいね。(館長 大谷華代子)



## 講座案内

★感染予防対策を講じた上で開催します。  
また感染拡大状況によっては、中止・延期になる場合があります。

# コロナに負けない！“生きがい”を守る智恵

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、さまざまなことが中止や自粛となった1年。できないことで“生きがい”を失ってしまった人もいないのでしょうか？このような社会的な試練から“生きがい”をどのように守るのか。また、どのように“生きがい”を見つけ、育て、長い人生を過ごすのかを考え、“げんきよく きげんよく”生きるための術を学びます。

令和3年 3月13日(土) 13時30分～15時

- 講師 桜美林大学老年学総合研究所 連携研究員 早崎広司さん
- 会場 都跡公民館 2階大会議室
- 対象・定員 成人 35人 ※在学・在勤可
- しめきり 2月24日必着 ※申込多数の場合抽選



★しみんだより2月号掲載中★

申込方法

- ①奈良市生涯学習財団ホームページ <http://manabunara.jp> より参加申込フォーム
  - ②往復はがきに講座名「コロナに負けない!」、住所、氏名、年齢、電話番号を記載の上、都跡公民館〔〒630-8032 奈良市五条町 204-1〕まで郵送。
- その他、FAX可〔FAX34-5954〕(FAX受信可能な方)。窓口でのお申込みの際は、はがき(63円)をお持ちください。



奈良市生涯学習支援サイト <http://manabunara.jp>

「公民館だよりバックナンバー」など都跡公民館のページを見てね!

裏面に続く

# 「都跡」の宝



今回は「真如親王」のお話の続きです。父・平城天皇の失職に伴い皇太子を退いた親王は、東大寺に出家し大仏様の修復をされます。その後、空海から真言密教を学びます。空海の教えに引かれた真如親王は、いよいよ...

## 真如親王、中国の唐へ

### ◎西国へ修行に

大仏様の修理を無事終えられた八六一年頃、真如親王は第一話にある超昇寺を、今の佐紀町に創建されたと考えられます。その頃より親王は、西国へ修行の旅に出かけられます。修行僧として諸国を歩けば、仏教の奥義も開かれると考えた親王の行動です。ところが、「天皇のお子さまが修行される」となると、世間は放っておきません。これでは修行になりません。ついに親王は中国での修行を決意されるのです。

### ◎中国で修行をしたい

今からおよそ一二〇〇年前、中国へ渡るには死を覚悟しなくてはなりません。現にその頃、遣唐使が十二回派遣されているのですが、その内七回は遭難して目的を達していません。それを知らしながら、入唐を決行された親王の意志の強さ、実行力のすごさに感銘します。

### ◎中国での親王について

親王のお供をした伊勢興房(いせのおきふさ)と言う方が「頭陀親王入唐略伝(ずだしんのうにゅうとつりやくでん)」と題して記録を残しています。お気づきの方もいらつしやると思いますが、伊勢興房は、親王の母・伊勢継子の縁者と思われる。「頭陀親王入唐略伝」は、興房が親王に

従つて入唐し、親王と別れるまでの体験を著したものです。

### ◎唐の都「長安」

「入唐略伝」には、一行六十人が九月三日五島列島から船出。幸い同月七日に明州(広東)に着きました。入唐への許可が下りるまでの約二年間待たされ、八六四年に長安の西明寺に入られたとあります。長かったでしょうね。

親王は長安では密教を学び、仏跡をめぐり、自分の求めるものに出会い、目的を遂げることができれば、日本に帰る予定でした。

ところが、当時の中国は、寺は破壊されるわ、お坊さんが二万人やめさせられるわなど、仏教の弾圧に苦しんだ時でした。親王は長安で有名なお坊さんと問答して難問を解決しようとされますが半年待つても満足が得られず、他のお坊さんに尋ねても難問は解けず、ついに帰国するのをやめ、仏教の発祥の地、天竺(インド) 行きを決意されることになるのです。続く(溝邊)



「真如親王唐求法コース」(溝邊作)

学びを求め長安へ、さらに天竺を目指される親王の求法の旅の続きは、4月号掲載予定。お楽しみに!

## ◆ 図書の紹介 ◆ ※公民館図書室の本です。

### 「だいくとおにろく」

(再話/松居 直 画/赤羽末吉 出版/福音館書店)

節分の豆まきと言えば、鬼(おに)ですね。今世間では、鬼と言えば『鬼滅の刃』がブームになっていますが、物語や絵本に出てくる鬼は、退治されてしまうような恐ろしい鬼ばかりではありません。



このお話では、鬼が立派な橋をかけることになるのですが、その鬼と大工とのやりとりが面白いですよ。

## ◇ 公民館 2月の行事予定 ◇

※感染症の発生、拡大状況によっては、中止・延期になる場合があります。

- 7日 みあときつずチャレンジ隊⑥
- 17日 みあと子育てサロン♪にこにこ広場♪  
10:00~12:00 ※申込不要、人数制限有  
移動図書館 14:00~14:45
- 19日 夜の学び~世にも奇妙な★日本霊異記~
- 20日 なかよし文庫 10:00~15:30  
都跡健康体操 10:15~11:15※人数制限有
- 26日 都跡つながり学習会 13:30~16:00  
\* 地区自治連合会との共催事業  
\* 会場は、都跡地区ふれあい会館



※公民館にお越しの際は、検温(37.5度以下) および体調チェックの上、マスクを着用し、上靴、水分補給用飲み物持参でお願いします。体調がすぐれない場合のご来館はご遠慮ください。